

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター



～かごしまの遺跡～

第17号

平成30年9月28日

特集：上半期発掘調査・整理作業の紹介

時代を越えて
人々の「食」を想う

木森遺跡（志布志市有明町）

木森遺跡は、菱田川左岸の標高約30mのシラス台地縁辺部にあり、東九州自動車道建設に伴い、発掘調査を行った遺跡です。

今年度の調査では、中世（約700年前）の建物跡や縄文時代早期（約11,000年前）の集落跡が見つかりました。平成26年度の調査成果も含め、縄文時代早期の調理施設と考えられる集石遺構が70基、連穴土抗が25基発見されました。また、角筒土器と呼ばれる南九州独特の形状をもつ土器も見つかっています。

荒園遺跡（曾於郡大崎町）



荒園遺跡は、曾於郡大崎町の持留川と田原川に挟まれた標高約50mの台地縁辺部に位置しています。これまでの調査で、縄文時代早期～古墳時代の遺構や遺物が見つかっています。今年度の調査では、「馬の背」状に細く延びた尾根部からも集石遺構や土器・石器が発見されました。狭い土地も工夫しながら利用した縄文人の暮らしぶりが目に浮かぶようです。

高野木遺跡（薩摩川内市）



高野木遺跡は薩摩川内市街部の川内川沿いにあり、平成27年度から始まった調査がすべて終了しました。中世の畠と考えられる畝間（うねま）状遺構が、調査区全体にわたって見つかりました。この畠は川内川の流れが運んで堆積した砂地に造られていました。当時の人々が川の「ほとり」でどのような作物を育てていたのか興味深いところです。

春日堀遺跡（志布志市有明町）

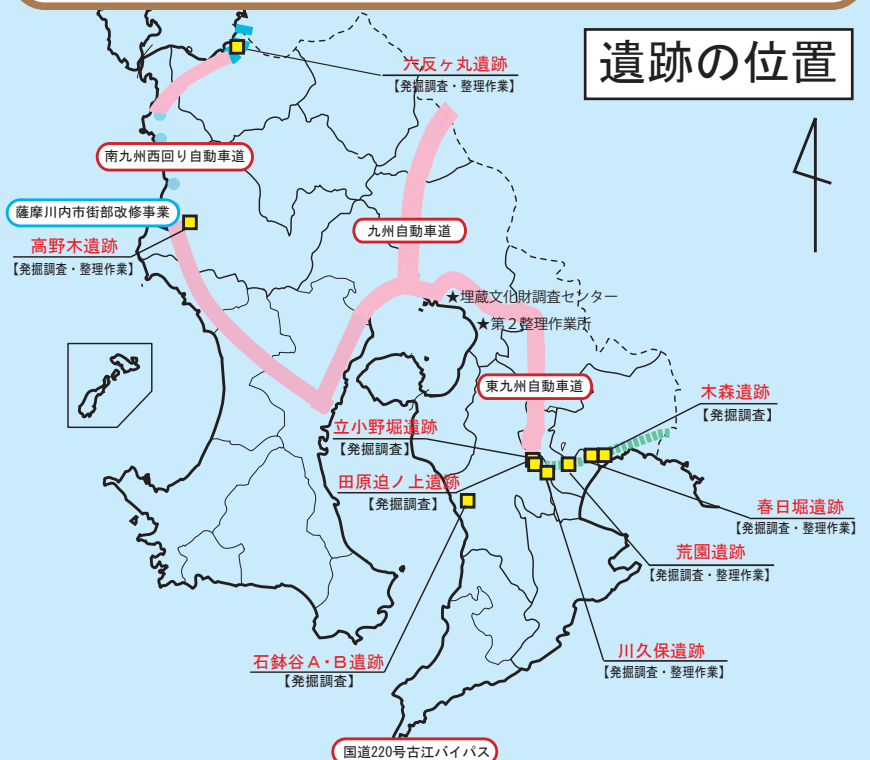


春日堀遺跡では、菱田川の右岸にある台地の端で、幅が3m・深さ1.5mの堀跡が発見されました。堀は断面形が「V」字状になる薬研堀（やげんぼり）と呼ばれるタイプで、室町時代から戦国時代（約650～440年前）に防御用として造られたものではないかと推定されています。堀の壁面には、当時の人たちが鋤や鍬で掘った痕跡が残っていました。

堀が造られた頃、遺跡周辺では楡井氏（にれいし）や島津氏、肝付氏などの有力な武士が大隅半島の領有権をめぐる争っていました。堀は近接する天守城跡とともに争乱の中で造られた可能性があり、大隅半島の歴史を語る上で重要な遺構であると考えられます。

六反ヶ丸遺跡（出水市）

六反ヶ丸遺跡は、出水平野を流れる米ノ津川の右岸、標高約6mの小高い場所にあります。調査区の一部から自然礫を敷き詰めた平らな面が発見されました。もともと一帯に堆積している礫層の礫を利用したもので、中には多くの土器片も混ざっていました。幅10mを超える平坦面は調査区外の南北方向へ伸びていると予想され、約千年前に多くの「ひと・もの・情報」が行き来した道跡の可能性もあり注目されます。



整理作業

今年度は、整理・報告書作成作業量の増加に伴い、霧島市立福山中学校跡に「第二整理作業所」を設置しました。今回はこの新しい作業所で行われている整理作業について紹介します。

第二整理作業所（福山中学校跡）



永吉天神段遺跡（民活）

民間調査組織に支援業務を委託し、報告書作成を行っています。

今年度は「縄文時代晩期～古墳時代編」として、縄文時代晩期の住居跡や埋設土器、弥生時代の掘立柱建物跡や円形周溝墓・土坑墓群、古墳時代の遺物についてまとめる予定です。



川久保遺跡（直営・民活）

整理作業の一部を民間調査組織に業務委託しています。

本遺跡は平成26～29年度まで発掘調査が行われました。古墳時代の集落を構成する竪穴住居跡や製鉄・鍛冶関連施設に伴う遺構が多数発見されており、古墳時代における鉄製品の生産過程を明らかにする上で、貴重な資料となることが期待されます。

小牧遺跡（直営・民活）

整理作業の一部を民間調査組織に業務委託しています。

本遺跡は旧石器時代から中世までの複合遺跡で、報告書の刊行に向けて基礎整理を進めています。



発掘調査成果の公開

発掘調査や整理作業で判明した成果は、現地説明会や財団体験フェア等の様々な機会に広く公開しています。

遺跡見学・職場体験学習・現地説明会等

当センターでは、調査中の遺跡見学や発掘体験等を受け入れています。

7月10日～12日には、志布志市立宇都中学校の生徒が職場体験学習で春日堀遺跡（志布志市）を訪れ、発掘作業や整理作業を体験しました。また、夏休みには霧島市や大崎町の子どもたちが同遺跡の発掘体験に参加し、遺跡についての説明を受けたり、本物の土器や石器に直接触れたりしました。

8月25日には、春日堀遺跡で現地説明会を開催しました。当日は200名を超える多くの方々が会場を訪れ、遺跡の魅力や発掘調査の雰囲気を感じました。土器の水洗を体験できるコーナーなどもあり、見学者の方々から「楽しく見学できた」「遺跡を身近に感じることができた」との感想をいただきました。

職場体験学習



現地説明会①



現地説明会②



現地説明会③



鹿児島文化振興財団体験フェア2018

財団フェア in あいら①



財団フェア in あいら②



鹿児島県文化振興財団では、財団各施設の活動を体験できるフェアを9月1、2日に鹿児島市の宝山ホールで開催しました。

当センターは「かつひこ先生の考古学講座ーミクロの考古学ー」を企画し、考古学の楽しさや奥深さを多くの方々へ発信しました。

また、これに先立ち6月17日には、始良市にあるイオンタウン始良で先行フェアを行い、「土器どきぬりえ」体験コーナーで多くの参加者に楽しんでいただきました。

財団体験フェア①



財団体験フェア②



財団体験フェア③



(公財)埋蔵文化財調査センターのホームページは、上野原縄文の森 (<http://www.jomon-no-mori.jp>)

または、鹿児島県文化振興財団 (<http://www.houzanhall.com/zaidan/>)

「上野原縄文の森」からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

～かごしまの遺跡～ 第17号

発行日 平成30年9月28日

編集・発行 (公財)鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター

〒899-4318 鹿児島県霧島市

国分上野原縄文の森2番1号

TEL 0995-70-0574 FAX 0995-70-0575

URL: <http://www.jomon-no-mori.jp>

E-mail: maibunchosa@tuc.bbiq.jp